

名古屋市立大学病院 腎臓内科・人工透析部 の御紹介

医療関係者の方、患者さん・一般の方へ

軽度の検尿異常・腎機能低下でも是非、御紹介下さい。

- 軽度の検尿異常・腎機能低下であっても 是非、御紹介下さい。
- 「腎臓内科に紹介しようか迷っていらっしやる・紹介するかどうかは別として事前に相談してみたい」などのご相談もお待ち致しております(個人情報に御注意頂き下記へお待ちしております)。先生の御診療後、お昼からでもお電話下さい。
お電話:052-851-5511 (福田もしくは荻山医師へつなぐよう交換台にお申し付け下さい)
メール: ncu_jin-consult@yahoo.co.jp

- 患者さんやご家族に、わが身を置き換え、心情を慮って「腎臓病のいかなるステージにおいても全力で患者さんのしあわせを迫及する」ことを目指します。
腎臓内科一同、いつもこの気持ちを忘れないよう診療に従事しています。
- 腎臓内科・人工透析部について お叱りのお言葉・御指導・御要望がございましたら福田道雄まで御連絡下さい。

「血尿があっても蛋白尿が軽度な方」こそ御紹介下さい(早期IgA腎症は根治します)

- 以前は血尿がでていても蛋白尿がないか、少ない場合は腎生検すら不要とする考えもありました。「自分は病気なんだ」との思いを抱いて暮らしていらっしやると思います。しかし最近、こういった方こそ完全寛解・根治を目指せることが判明しました。
扁桃摘出・Hotta式ステロイドパルス療法・上咽頭炎治療を受けて頂くことが可能です。「病気でない」人生を取り戻すためともに歩みたいと考えています。
年間の 腎生検数 は自施設のみの集計で 40件以上 行っています。

腎機能が低下してしまった方に血清クレアチニン値が少しでも下がるようにあらゆる手を尽くします。

- もしも透析が必要となった際のシャント手術も、**腎不全にならぬように共に頑張ってきた、よく理解し合っている腎臓内科医師によって** 自己血管・人工血管シャントなど、あなたにとって最適な、いかなる手術も受けて頂けますのでご安心下さい。
手術をしても透析に至らないようにする努力は、決して諦めません。
- シャントトラブル患者さんに入院が必要でお困りの際も是非御紹介下さい。
- 年間70-80件のシャント手術、 30-40件のシャントPTAを行っています。

情報発信・情報共有

- かかりつけ医の先生方との病診連携勉強会「桜山 夏の腎・冬の陣」
- 「患者様と御家族のための腎臓病セミナー」
- 市大病院を受診しなくてもかかりつけ医先生がオーダーできる「腎臓病グループ指導」
- 高血圧診療の初期段階で、腎血管性高血圧・原発性アルドステロン症の鑑別に悩んだ場合御依頼下さい。
- 「腎嚢胞・多発性嚢胞腎」外来を開設しました。
- 多発性嚢胞腎の治療サムスカ導入は入院が必要です「3泊4日のクリニカルパス」で行います。
- 維持透析中の患者さんで「原因が分からないが困っている」病状も御相談下さい。
- 潰瘍性大腸炎・クローン病への G-CAP, L-CAP, 腹水管理のCART 治療も日常的に行っています。



月	火	水	木	金
荻山義明	福田道雄 CAPD 松岡哲平	下串浩矢 腎嚢胞・多発性嚢胞腎 水口建 シャント外来 水野晶紫	柴田裕子	水野晶紫

市大病院を受診/ 御紹介下さるのをお待ちしております。